

平成28年2月教育委員会定例会 会議録

平成28年(2016)2月23日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	成 相 善 美
教育委員(委員長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(教育政策課長)	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	安 井 孝 治
児 童 生 徒 支 援 課 長	竹 田 博 司
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	渡 部 尚 美
学 校 教 育 課 主 査	松 浦 和 之
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	松 井 博 之

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者 2 名

開会

(成相委員長) 只今から、平成28年2月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 会議録の承認

(成相委員長) それでは会議録の承認に入ります。1月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(成相委員長) 特に意見等ありませんので、1月定例会の会議録については承認といたします。

2. 教育長行政報告

(成相委員長) 次に、行政報告について、槇野教育長に報告願います。

(槇野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H28.1.27 檜山小・東小再編統合推進委員会
- H28.2.2 校長面接 ～2.17
- H28.2.2 管内教育長会
- H28.2.3 まちづくり懇談会(鳶巣)
- H28.2.5 佐香小・久多美小再編統合推進委員会
- H28.2.8 いじめ問題対策委員会
- H28.2.8 同和対策委員会
- H28.2.10 校長会役員懇談会
- H28.2.11 くにびきマラソン大会
- H28.2.15 臨時教育委員の会議
- H28.2.16 管内教育長会
- H28.2.17 臨時校長の会議
- H28.2.18 小中連携実践発表会
- H28.2.18 科学館運営委員会
- H28.2.22 市議会初日 ～3.18
- H28.2.23 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

- H28.2.24 市議会施政方針質問
- H28.2.25 学校保健会表彰式
- H28.2.26 まちづくり懇談会(伊野)
- H28.2.28 公募展表彰式
- H28.3.2 市議会一般質問 ～3.4
- H28.3.4 まちづくり懇談会(上津)
- H28.3.7 校長の会議
- H28.3.8 市議会文教厚生常任委員会
- H28.3.11 市議会予算特別委員会 ～3.16
- H28.3.18 市議会最終日
- H28.3.22 定例教育委員の会議

(3) 3月定例会市議会

(1) 施政方針質問

○寺本淳一議員

- ①企業誘致においても、地元企業の成長においても、優秀な人材確保が課題となる。今後の教育において「企業がほしくなる人材」を育成していくには何が必要と考えるのか。
- ②エアコン整備で全中学校への配置スケジュールと小学校配置についての考えは。

○坂根守議員

- ①急増している日本語指導が必要な児童生徒への対応の強化とは具体的に。
- ②中学校の普通教室にエアコンを年次的に整備することは、大歓迎である。何年計画か、予算はいくらか。特別教室はすでに整備済みか伺う。

○勝部順子議員

中学校の普通教室へのエアコン設置を表明された。小学校への設置について今後の方針を伺う。

○小村吉一議員

1 学校の多忙化の解消について

- ①「教員の事務の負担の軽減を図ります」と述べているが、何を軽減し、何が残されるのか、事務負担の現状について伺う。
- ②教育の充実には、教員が学ぶ時間の確保が不可欠である。現実では、さまざまな対応や提出物、部活動などにより、それが十分生み出せないのが現実であろう。この状況をどのように考えるのか伺う。
- ③「学校は最大のブラック企業」だと言う人もある。教職員の時間外勤務の実態を伺う。
- ④教職員の勤務について、実態調査を行うべきと考えるがどうか。

2 学校の再編統合について

「地域再生」、若者たちの「田園回帰」の現象が強まっている。そんな中、海

士町などに見られるように、学校は地域再生、振興にとって、極めて重要な存在となる。また、「地方創生、総合戦略」は、中山間地域等に「小さな拠点」の形成を政策とした。そのような時の流れの中で、本市の残る学校再編統合計画は、住民に強いるのではなく、撤回こそ求められていると考えるが、市長の見解を伺う。

(成相委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(成相委員長) エアコンの予算化がされたということは、非常に良かったと思います。これは、中学校全部についていくということですか。

(槇野教育長) その予定です。

(成相委員長) 何年前からの話でしたかね。

(槇野教育長) 2年ぐらい前から、必要性を訴えてきていますね。ようやく道が開けてきました。

(成相委員長) そうですね。ありがとうございました。

3. 報告

(成相委員長) 本日は議事案件がありませんので、報告事項に入ります。報告(1)「3月定例市議会への提出案件について」の①「補正予算案件」を、一括して、教育部 赤木次長から説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)の①について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に、報告(1)の②「平成28年度当初予算案件」について、各担当課長から説明願います。質問は説明後、一括して行います。赤木教育部次長から説明願います。

(各課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)の②について、何か質問等はありませんか。

(本田委員) 前年度予算額と本年度予算額を比べたときに、大きく変わっているところがありまして、今のご説明でわかったところもありますが、わからないところがありますので、教えてください。教育政策審議会開催事業で、前年度が54万円、今年度が110万円、倍ぐらいになったのはどういうことでしょうか。

(赤木次長) 第2期出雲市教育振興計画が、平成28年度末で終わりますので、29年度からの3期の教育振興計画を策定しなければいけません。教育政策審議会の委員の皆さんに、例年よりも倍近く会議に出席していただく必要がありまして、倍増しております。

(本田委員) 教育委員会事務局事務費は、前年度が240万円、今年度が157万円に減っていますが、これはどうしてでしょうか。

(赤木次長) 今年度は、中国ブロックのPTAの研究大会が出雲市でありまして、補助金を出しておりますので、それが主な理由です。

(本田委員) 中学校管理費の中で、借地料が1校分ありますが、これはどこですか。

(金山課長) 第一中学校です。借地については、この第一中学校もありますが、小学校もたくさんあります。これについては、定期監査などで、減らしていった方がいいという指摘がありまして、所有者の方と交渉をしております。少しずつ解消させていただいております。一番近いところでは、荘原小学校の運動場にかなり大きな借地がありまして、それも買いましたし、今年度は荒木小学校の校庭の中の借地も買わせていただきました。来年もこの第一中学校の中のものについて、少しずつお話をさせていただいて、買えそうなものは計上させていただくということで、進めているところです。

(本田委員) それから中学校のエアコンですが、今年の夏までにつきますか。

(金山課長) 先ほど29年度の実施設計を、28年度に入れてであると説明しました。29年度は4月にすぐ発注できるようにと考えていますが、28年度につきましては、4月になったらまず設計をして、それからその工事の発注をするということになりますので、工事に着工できるのが早くないものですから、今のところは、できれば8月いっぱいには終わって、9月くらいには使えるようにと考えております。エアコンを全教室につけるということは、電源の改修もしなくてははいけませんので、今の電気がどれだけ今のトランスの大ききで使えるのかということ調査して、足りない場合はトランスの部分から替えていって対応しなければいけないということもあります。ですから大変申し訳ないですけど、8月いっぱいには何とかがんばってクリアしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

(本田委員) それから建設年度の古い順から実施と書いてありますが、どういう順番ですか。

(金山課長) 今年度計画の3校は、一番古い学校です。整備する学校が11校ありますが、そのうちの3校です。

(松浦委員) 旧旭丘中学校の解体事業について調査するという話がありますが、旭丘中学校というのは例えば耐震の面などで、もう壊さなければならない、何にも使えないものですか。

(金山課長) 旧旭丘中学校につきましては、築年数も相当経っておりますし、建物自体が相当痛んでおります。耐震性も低い建物でして、利用するのは困難だと考えております。去年は物が盗まれたりして、治安的にも良くないということで、周辺の方からもそういう意見もいただいておりますので、できれば早く解体してきれいにしたいと考えております。

(松浦委員) 今、佐香小学校の話も出ておりますが、統廃合によって残ってもいい建物もいくらかありますか。例えば佐香小学校はどうですか。

(金山課長) 佐香小学校につきましては、屋内運動場は非常に築年数が経っておりまして、耐震性も低くて壊したい建物です。ただ新しい校舎は、平成3年に建てまして、これは耐震性もあります。今後どのようになるかわかりませんが、いい活用方法でもあれば、今後使う方向で検討されることは十分あると考えています。

(松浦委員) それは、地域に委ねられるのですか。

(金山課長) いろいろな形で活用があれば、やっていくような方向だと思います。

(松浦委員) 市も含めてですか。

(金山課長) はい。ただ再編統合推進委員会の中では、使わないという話を今のところいただいております。

(下手委員) 旧荘原幼稚園の、解体後の跡地はどうなりますか。

(金山課長) 幼稚園自体が小学校の敷地の一部になっておりますので、跡地は整地をいたしまして、使える部分は小学校敷地として使っていきたいと考えています。

(下手委員) 全部更地にされますか。少し山になった部分があります。

(金山課長) 山で木がいっぱいある部分は古墳でして、文化財課が管理しております。そういうこともあります、基本的には小学校として使っていけると考えています。

(成相委員長) 校務支援システムですが、これで完成ということで、いろいろなものがシステムとして完成されて便利なことになると思います。これを使われるのは、担任の先生ですか。

(赤木次長) 機能によって違うと思いますが、すべての人に1台ずつパソコンがありますので、出欠管理については担任か養護教諭、時間割については教務主任というように使われると思います。

(成相委員長) 使いやすくて非常にいいですが、情報が漏れないように、ぜひよろしく願います。

(赤木次長) それは、確実にやります。

(松浦委員) 関連で、この校務支援システムについては予算が付きましたが、教員の事務負担を軽減するためという学校事務支援事業、これは減額になってはいますが、この減額と先ほどの新規事業は関連があるものですか。それとも、まったく別問題のものですか。

(赤木次長) まったく別問題ではありませんで、校務支援システムを入れることで、学校事務指導員が現在4人おりますが、年次的に減らされていくということです。

(松浦委員) ではこの減額と、若干関連性があるということですね。

(赤木次長) はい。

(成相委員長) 近年いろいろなことが予算化されてきて、いい形になりつつありますよね。ぜひ、これが子どもたちの教育にうまく活かせるようにしていただきたいと思えます。

次に、報告(1)の③「条例案件」の「出雲市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例」について、教育部 赤木次長に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)の③について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に、報告(1)の④「単行議決案件」の「工事請負変更契約の締結について」を、教育施設課 金山課長に説明願います。

(金山課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)の④について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に、報告(1)の⑤「専決処分の報告」について、教育部 赤木次長、教育施設課 金山課長に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)の⑤について、何か質問等はありませんか。

(本田委員) これは、車の保険を使わないということですか。

(赤木次長) 保険会社から、同額の保険があります。ただ、損害賠償はするということで報告するものです。

(成相委員長) 子どもさんが一人だったから、家まで送ったということですか。

(赤木次長) 運行路線ですので、普通は家の前で降ろして、その先の停留所までいくわけですが、この時はたまたま一人だったので、そこでユーターンしようとしたために、確認不足で事故になったということです。

(成相委員長) 今後は、子どもさんをそこで降ろしたとしても、決まったところで方向転換して帰るということですね。

(赤木次長) そのように指導しています。

(成相委員長) わかりました。では、金山課長、お願いします。

(金山課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) このことについて、何かありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に、報告(2)「学校再編の状況について」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) 檜山小と東小の地域ですが、檜山小の子どもたちは、どれぐらいの距離がありますか。歩いて行けますか。

(赤木次長) スクールバスを購入することになると思います。東小は多分、一畑薬師の方は、今の東小学校よりかなりこちらの方に来ますので、東小地区も檜山小地区も、多分4キロメートルを超える児童が出てくると思います。

(下手委員) かなり多数の方が、スクールバス利用になるという状況ですか。

(赤木次長) そうですね。

(松浦委員) 徒歩通学の、キロ数のきまりがありますか。

(赤木次長) はい。4キロメートル未満です。4キロメートル以上は基本的には、学校統合ということでスクールバスで対応させていただきます。

(下手委員) 地元の方も承認しておられますか。

(赤木次長) それぞれ檜山も東も町内会に下ろされまして、9割近くの町内で賛同をいただいたということで前回、候補地として決定させていただきました。

(成相委員長) 次に、報告(3)「平成27年度(4月～12月)出雲市立小・中学校における問題行動等について」を、児童生徒支援課 竹田課長 に説明願います。

(竹田課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(3)について、何か質問等はありませんか。

(本田委員) 対教師とか生徒間の暴力で、けがをしたり医療機関に受診したような例はないでしょうか。

(竹田課長) 病院に行ったり、けがをしたケースはありました。入院とか、そういうこ

とではないですけど、治療を要したケースはありました。

(本田委員) それは、学校の保険などの対応ですか。

(竹田課長) それは、双方の家と家の話し合いで対応しておられます。

(本田委員) 学校の保険は使わずに。

(竹田課長) そうですね。治療費とか診察費がかかるケースは、家と家の関係で対応していただいています。

(本田委員) けがの程度がはなはだしい場合には、例えば、学校の管理はどうなっているのかと、訴えられるというようなことはありませんか。

(竹田課長) 今年度については、そういった大きい例はありませんが、管理責任については、どの程度のときにどうなるかというところもあると思いますが、保険を使うようなことは無いような気がします。いわゆる損害を、AからBに与えたということになりますので、なかなか難しいところだと思います。

(本田委員) 中学校で起きるので、中学生の子どもさんは力も強かったりすると、暴力の結果がひどいこともあって、これから先、訴えられることもあるのではと思ったところですか。

(松浦委員) ネットトラブルの中に、例えばラインでいじめが多いケースというのは、「いじめ」の方ですか。「ネットトラブル」とは言わないのですか。

(竹田課長) その他の「人間関係のトラブル」というところで、そういったものも含めて計上しております。

(松浦委員) 「対教師暴力」から「その他」までの「問題行動」のところは、細かく報告があがってきますか。

(竹田課長) 1件1件、こちらでも聞き取りなどを行っています。

(松浦委員) 「いじめ」は数字報告ですか。

(竹田課長) 「いじめ」についても同じです。状況については、聞き取りをしています。

(松浦委員) そうですか。

(下手委員) いじめに関してよく知り合いの人から聞くのは、いじめが部活で行われるということですが、そういう傾向が強いですか。

(竹田課長) 中学校の場合、今年状況を見ますと、部活動の中というのは確かにあります。それを見ても、2学期に3年生が引退した後に、1、2年生になって新しい人間関係といいますか、関係が再構築されるころから、部活動の関係の中でのいじめが、2学期に少し増えたという特徴が見られたところです。

(下手委員) 部活の先生と生徒の行き違いとか、そういったことも良く聞くものですから、中学生の部活の精神的に占める割合は大きい気がして、そういったところはどうか。

(竹田課長) 教員とどうこうということではなくて、なかなか部活動に出にくくなったとか、表情がさえないということで話を聞いていくと、やはり部活動の中の人間関係が原因だったということがありました。部活動の顧問の指導がどうのこうのというところは、直接はこのいじめ等の数字には上がりませんので、ちょっと別です。

(下手委員) それとは別にそういった意見も、委員会の方にはありますか。

(竹田課長) 委員会には、部活に限らず、生徒指導上の対応についての相談はあります。例えば、いじめに対して学校の対応がどうだろうかというような相談や、いじめのほかに不登校等も含めて、いろいろな子どもの問題にかかわる教員の対応について「学校の先生が・・・」という相談も、直接保護者の方からいただくことがあります。話を良く聞きまして、学校と一緒に丁寧に対応するようにしております。

(成相委員長) ほかにありませんか。

(各教育委員) なし。

4. その他

(成相委員長) 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育部 赤木次長 に説明をお願いします。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(安井課長) お手元に、「出雲市学力向上リーフレット」をお配りしました。実は本日でできてきたところですので、せっかくの機会ですのでご覧いただきたいと思ひまして用意しております。学力調査の結果、家庭と学校の連携、あるいは生活学習習慣というのは、非常に密接な関係があるという結果が出ております。従来は、各学校で工夫しながら、こうしたお便りのようなものを出しておりましたが、教育委員会といたしましても、全小中学生向けにご理解をいただくために、こうしたリーフレットを作りまして、啓発を進めていきたいという思いで作成をしました。今月末をめどに、各校に配る予定にしております。ご覧いただきますように、合言葉として「いつも ずっと もっと」ということで、家庭でもルールの確認、ずっと続ける家庭学習、それからもっと話そう学校のこと、これがいずれも平均正答率でよい結果が出ているということから、作っています。裏面には、生活の見直しをしていただきたいというようなことで表をつけておりますし、特に中学校の場合は部活動もありますので、中学校版の裏面には部活動と学力のことも書いております。なかなか限られた時間の中でやっていかななくてはいけないことですが、家庭学習1、2時間の子どもたちでも、集中して取り組めば高い正答率が出ているという状況もありますので、そうしたことで生活を見直しながら、集中して家庭学習にも取り組んでいただきたい、ということ掲げております。以上です。

(成相委員長) これができれば、子どもと親のつながりとか、目標を持ってやっていくとか夢を持つとか、そういうことにつながっていくと思いますので、素晴らしいと思いますね。

(本田委員) これは学校でどのような取扱をされるのか、配って終わりではいけないので、全部の学校やクラスがこれを活用していただきたいと思います。

(松浦委員) 中学校は、携帯電話は原則持ち込み禁止で、何か届出制ですか。

(竹田課長) 禁止ですね。持ち込めません。

(松浦委員) 許可を得た場合とか、何か特別な家庭の事情がある場合とかは。

(竹田課長) 個別のケースは、異例中の異例があるかもしれませんが、基本は禁止です。

(松浦委員) 先日、うちの子の小学校は、そういう必要なケースがあったら届出を出してください、と校長名で文書が来て、もちろん無いですけど、中学校はどうかなと思ひまして。

(竹田課長) 小学校の方が心配されるというケースかもしれませんね。

5. 次期教育委員会の開催時期

(成相委員長) 他にないようですので、次期教育委員会の日程ですが、3月22日(火)の、午後2時から市民応接室で開催いたします。

6. 閉会

(成相委員長) 以上をもちまして、教育委員会2月定例会を閉会します。

(15:29) 定例教育委員会閉会